



第157号 通巻27巻 第6号
2008年3月31日 発行

守山市立埋蔵文化財センター
Tel. Fax 077-585-4397

〒524-0212
守山市服部町2250番地

はじめに

市内各地の桜も美しく咲きこぼれる時節となりました。今回の乙貞では、平成19年度の調査のまとめと埋文センターの今後の催しについてお知らせします。

☆ 春季特別展の開催について ☆

区画整理事業及び宅地造成工事に伴い、平成15年7月から実施してきた欲賀遺跡と欲賀南遺跡の発掘調査が昨年11月末で終了しました。この間、何度か新聞等で話題になるなど多くの成果をあげることができました。埋蔵文化財センターでは、この欲賀遺跡と欲賀南遺跡の調査成果を公開するため春季特別展を開催します。



▲出土した巫女形埴輪

市内の文化財行事等
お知らせ

開催テーマ

『欲賀遺跡、欲賀南遺跡発掘調査成果展』

【開催趣旨】市南部を流れる境川はかつて野洲川の主流であり、古代以降、旧野洲郡と旧栗太郡の境界になった川でした。その流域には数多くの遺跡が点在しており人々の暮らしと密接につながりがあったことがわかります。欲賀遺跡と欲賀南遺跡は、この境川沿いに立地した遺跡で、縄文時代から室町時代にかけての様々な資料が発掘調査で出土し、話題になりました。今回の特別展では、4年余りの調査で得られた出土品などを展示・公開し、境川右岸に展開したこれらの遺跡について考えてみたいと思います。

【開催期間】 平成20年4月26日（土）から5月11日（日）まで（期間中無休）

【開催時間】 午前9時から午後4時まで（入館時間） ※閉館は5時です

【主な展示品】 石棒せきぼう（縄文時代）、石鏃せきぞく・弥生土器（弥生時代）、巫女形埴輪みこがたはにわにわとりがた・鶏形埴輪にわとりがた・大型管玉くだ・鉄刀たまとつとう（古墳時代）、土馬どば・小型銅鏡どうきやう どうせいおびかなぐ・銅製帯金具どうぞうじゅういちめんかんのりゅうぞう（奈良時代）、銅像どうざう十一面観音立像わきょう（平安時代後期～鎌倉時代）、毬杖の玉ぎつちやう・墨書した板わきょう（鎌倉時代）、和鏡わきやう（鎌倉～室町時代）など展示品約100点

【関連行事】 欲賀遺跡・欲賀南遺跡調査成果報告会および展示解説

日 時 平成20年4月27日（日）10:00から12:00まで

場 所 市立埋蔵文化財センター2階会議室

体験学習 火おこし体験 土曜、日曜、祝日（センター前庭随時開催）

【休館のお知らせ】特別展開催準備のため4月21日（月）から4月25日（金）までと後片付けのため5月12日（月）から5月15日（木）まで休館いたします。

※交通機関はJR守山駅より近江バス笠原線「市立埋蔵文化財センター」行き終点下車

☆ 発掘調査だより ☆

1 播磨田西遺跡（第5次調査）の調査

市立守山中学校の近く、下之郷町字金屋の水田地（約900㎡）を対象として1月より実施してきた共同住宅新築工事に伴う発掘調査が終了しました。遺構は耕作土のほぼ直下で検出され、方形周溝墓1基、旧河道1条、溝8条、土坑10基と多数のピットなどが発見されました。調査区の北側で見つかった方形周溝墓（SX-1）は、一辺が約8m、溝は幅1m～2m、深さ30cm～60cmを測るもので、弥生時代中期後半の壺などが出土しました。調査区の中央部で検出された旧河道は幅約15m、深いところでは約1mを測ります。遺物が少量であるため、詳しい年代は不明です。土坑はSK-1、SK-7が深く掘り込まれており、SK-7からは黒色土器碗が完形で出土しました。

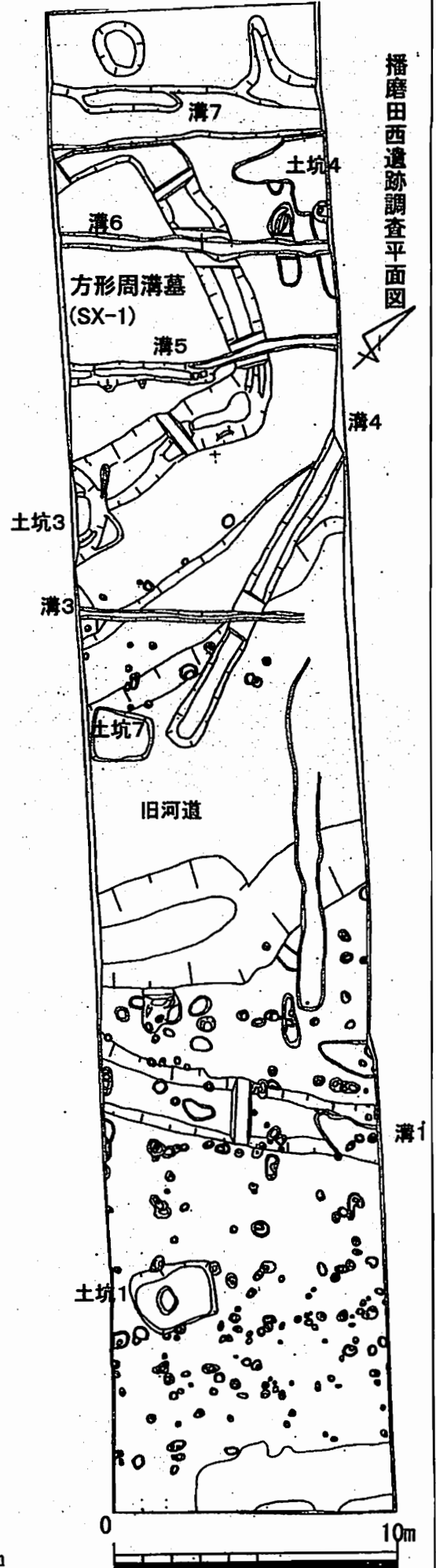
旧河道の南側に集中していたピットの中には、細くなった柱根や底に拳大のやや平らな石が見つかるなど、柱穴と思われるものもありましたが、建物のプランを明確にはできませんでした。周辺の調査例からすると、西側約50m付近では平安時代の溝が検出され、道を挟んだ北東側の調査でも平安時代後半代の遺構、遺物が見つかったことから、今回の場所では同時期の遺構が広がるものと考えていましたが、新たに弥生時代や室町時代の遺構が検出されることとなりました。
(畑本)

2 吉身西遺跡（第99次調査）調査

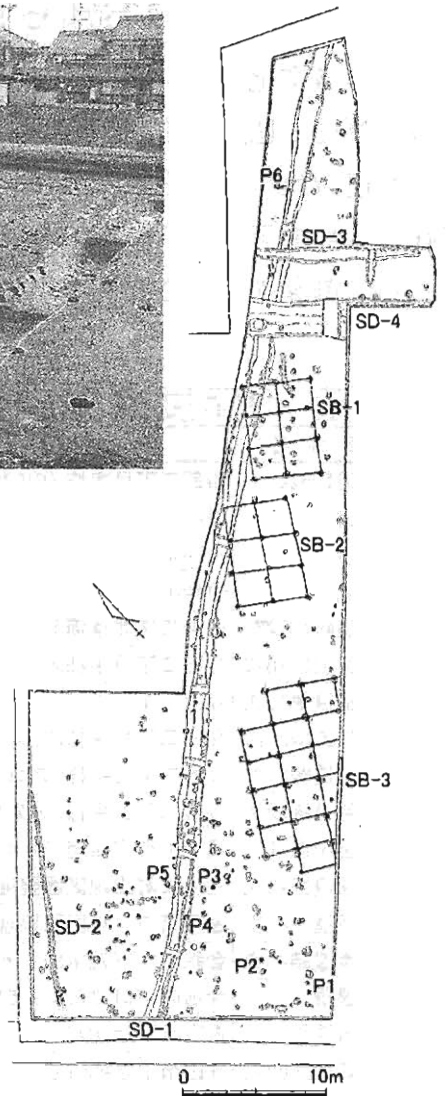
守山市守山五丁目字中岩賀において個人住宅新築工事に伴う調査（約44㎡）を実施しました（3月10日・11日）。その結果、耕作土直下で土坑1基、ピット1穴を検出しました。遺物は出土しませんが、隣地の調査から見つかった弥生時代後期の円形竪穴住居の埋土と似ていることから、同様の時期ではないかと考えています。
(畑本)

3 大門遺跡の調査（終了）

大門町地先にて12月から実施していた調査が終了しました。調査の結果、平安時代の建物と溝を検出しました。建物SB-3からは土師皿や黒色土器、緑釉陶器が出土しており、建物の中で最も古い平安時代中期頃と思われます。SB-1とSB-2からは遺物は少量ですが土師皿と黒色土器が出土しており、平安時代中期から後期の建物と考えられます。建物のそばのピットには土師皿が何枚も重ねて埋められてあるもの（P-2, 3, 4, 5）、完形の瓶子が埋められてあるもの（P-1, 5）、拳大ほどの丸い石が埋められてあるもの（P-6）があり、地鎮などの祭祀に関わる遺構と考えられます。特にP-5（乙貞156号写真）からは何枚もの土師皿の下に銅銭と瓶子、その下の底から3cm



ぐらいの小豆色の石（チャート）が計8個見つかりました。溝では、建物の軸と同じ向きのSD-2とSD-3は建物に関する溝と考えられます。調査地の東西に走るSD-1は平安時代以前に流れていた古墳時代後期の可能性がある溝です。SD-4は現在の地割の境界と同じ場所にある鎌倉時代の溝です。今回の調査地の西にある栗東片岡線に伴う調査（1980年）や草の根ハウス、児童公園建設に伴う調査（1987年）でも、鎌倉時代と平安時代中期から後期にかけての集落が確認されており、今回の調査地にも平安時代の大門遺跡の集落が広がっていることが確認されました。（森山）



▲大門遺跡調査平面図

☆ 文化財のニュース ☆

わかんこんこうしょう

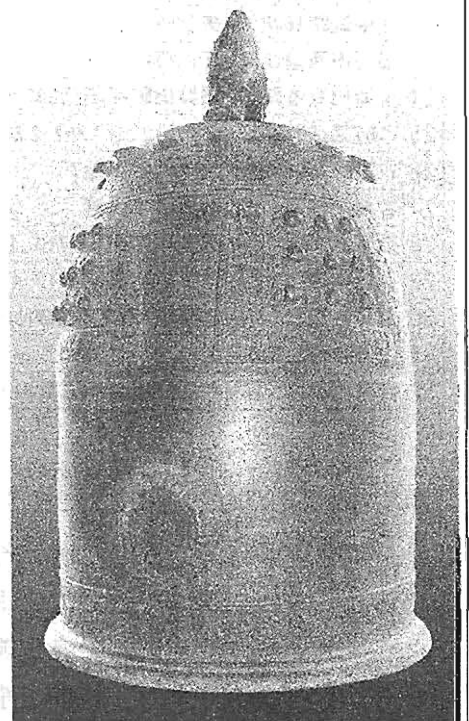
国内最古の和韓混淆鐘見つかる！

しちにいかわ みこしくら どうしょう

幸津川町下新川神社の神輿蔵で見つかった銅鐘を調査した結果

「和韓混淆鐘」と呼ばれる大変珍しい鐘であることがわかりました。和韓混淆鐘とは、日本の鐘と朝鮮半島の鐘の双方の要素を合わせ持った鐘のことをこう呼んでいます。九州や中国地方を中心に全国で5例の和韓混淆鐘が知られており、今回、下新川神社で見つかった鐘が6例目となります。青銅製で、高さ約40cm、直径（最大）23.9cm、重さ11.2kgを測る小形の鐘で、その大きさから

「喚鐘」に分類されています。鐘の側面には「江洲野洲郡幸津川荘／地主下新川明神之鐘也／奉寄進東般若院／施主／道源／道金／浄圓／應永二十六年霜月」の8行の銘文が刻まれています。残念ながら製作者（鋳物師）の名前は見当たりませんが、室町時代の応永26年（1419）に、道源、道金、浄圓の三人の僧侶が下新川神社にこの鐘を寄進したことが記されています。これまでの5例の中では、応仁3年（1469）の記年銘がある長崎県対馬厳原町所有の鐘が最も古かったのですが、応永26年（1419）の銘が刻まれる下新川神社の鐘は、それを半世紀 遡る現存最古の和韓混淆鐘となります。15世紀当時の下新川神社を取り巻く惣村（自治的な村）の様相を伝える貴重な史料で、幸津川町の生い立ちを考える上でも重要なものといえます。発見された銅鐘は、3月12～16日まで間、市立埋蔵文化財センターで、速報展示しました。また、3月27日付で新たに守山市の有形文化財（工芸品）に指定されました。



▲下新川神社 銅鐘

☆ 友の会のお知らせ ☆

市立埋蔵文化財センター友の会は、身近な歴史や埋蔵文化財に興味をもつ方々の集まりです。地域の歴史や埋蔵文化財への理解を深めるため、発掘現場や史跡、博物館の見学などの活動の他、関連情報の提供を行なっています。平成20年度も話題に富んだ見学先を検討していきます。現在、会員募集中です。なお、第一回目の見学会・総会は5月25日（日）に予定しております。ふるって御参加ください。
(友の会事務局より)

平成19年度発掘調査一覧

| 番号 | 遺跡名 | 調査地 | 調査期間 | 調査/開発面積(m ²) | 調査原因 | 種別 | 担当 | 乙貞掲載 |
|----|----------|----------------------|-------------|--------------------------|----------|------|----|----------|
| 1 | 赤目遺跡6次 | 勝部二丁目字坊ノ内675-1 | 5/14~8/4 | 280/1749 | 宅地造成 | 本調査 | 大岡 | 153号 |
| 2 | 赤目遺跡7次 | 勝部二丁目字北十三536.559 | 7/12~8/3 | 170/1842.83 | 集合住宅 | 本調査 | 大岡 | 154号 |
| 3 | 赤目遺跡8次 | 勝部二丁目字坊ノ内657-10 | 1/25~1/31 | 30/165.06 | 個人住宅 | 本調査 | 伴野 | |
| 4 | 伊勢遺跡106次 | 伊勢町字南代627 | 11/8~11/10 | 220/617.2 | 事務所建築 | 確認調査 | 伴野 | |
| 5 | 伊勢遺跡107次 | 伊勢町字北東浦56-2 他 | 1/15~3/21 | 224/500 | 確認調査 | 確認調査 | 伴野 | |
| 6 | 焰魔堂遺跡18次 | 今宿二丁目字柿ノ木260-29 | 8/20 | 72/168.35 | 個人住宅 | 本調査 | 畑本 | |
| 7 | 焰魔堂遺跡19次 | 今宿二丁目字柿ノ木260-30 | 8/21~8/22 | 71/171.39 | 個人住宅 | 本調査 | 畑本 | |
| 8 | 焰魔堂遺跡20次 | 今宿二丁目字柿ノ木260-31 | 8/22~8/23 | 73/168.5 | 個人住宅 | 本調査 | 畑本 | |
| 9 | 焰魔堂遺跡21次 | 今宿二丁目字柿ノ木260-32 | 8/24 | 70/168.5 | 個人住宅 | 本調査 | 畑本 | |
| 10 | 焰魔堂遺跡22次 | 今宿二丁目字柿ノ木260-33 | 10/9~10/10 | 50/168.49 | 分譲住宅 | 本調査 | 畑本 | 155号 |
| 11 | 焰魔堂城遺跡 | 焰魔堂町字西浦174-4、-6 | 4/20 | 35/50 | 個人住宅 | 本調査 | 畑本 | |
| 12 | 金森東遺跡46次 | 金森東町土地区画整理3街区3号 | 5/8~5/11 | 165.07 | 分譲住宅 | 本調査 | 川畑 | 153号 |
| 13 | 金森東遺跡47次 | 金森東町土地区画整理16街区13,14号 | 5/14~5/28 | 548.81 | 共同住宅 | 本調査 | 畑本 | 153号 |
| 14 | 金森東遺跡48次 | 金森町字下荒木928 他 | 7/24~7/27 | 150/1257.27 | 個人住宅 | 本調査 | 森山 | 154号 |
| 15 | 経田遺跡 | 今宿町字口津田479-51 | 9/3 | 20/143.86 | 個人住宅 | 本調査 | 伴野 | |
| 16 | 古高城遺跡 | 古高町字ナコン33-5 | 6/13 | 30/166.79 | 個人住宅 | 本調査 | 伴野 | |
| 17 | 下之郷遺跡62次 | 守山市下之郷町字シノ204-1他 | 6/1~3/28 | 約3000 | 史跡整備 | 本調査 | 川畑 | 153~156号 |
| 18 | 大門遺跡6次 | 大門町字高樋12、16 | 12/20~2/20 | 1300/1721 | 宅地造成 | 本調査 | 森山 | 156号 |
| 19 | 高関遺跡 | 二町町字入ノ上90番1他 | 5/7~5/18 | 120/3993.53 | 宅地造成 | 本調査 | 畑本 | 153号 |
| 20 | 高関遺跡 | 二町町字北ノ樋108-8 | 1/28~2/8 | 110/2678.46 | 区画整理 | 本調査 | 小島 | |
| 21 | 塚之越遺跡24次 | 古高町字正楽239-1 | 11/12~11/20 | 140/1536.81 | 共同住宅 | 本調査 | 大岡 | |
| 22 | 寺中遺跡16次 | 矢島町316-2 | 10/17~10/31 | 140/462.72 | 公共建築 | 本調査 | 大岡 | 155号 |
| 23 | 播磨田西遺跡5次 | 下之郷字金屋378-1 | 1/8~2/22 | 900/2140.38 | 共同住宅 | 本調査 | 畑本 | |
| 24 | 播磨田東遺跡 | 播磨田町字細畑280-57 | 12/13 | 50/178.23 | 個人住宅 | 本調査 | 伴野 | |
| 25 | 二町鏡遺跡20次 | 二町町266-3,267-2,268-1 | 5/7~6/19 | 671/2420.45 | 共同住宅 | 本調査 | 森山 | 153号 |
| 26 | 古高遺跡23次 | 大門町字高樋7 | 6/11~8/14 | 507.5/1810.9 | 宅地造成 | 本調査 | 畑本 | 154号 |
| 27 | 欲賀南遺跡 | 欲賀町字大蔵 | 4/1~11/30 | 5500 | 宅地造成 | 本調査 | 小島 | 152~156号 |
| 28 | 欲賀南遺跡 | 欲賀町字越細1713、1718 | 7/18~7/20 | 40/194.86 | 個人住宅 | 本調査 | 森山 | 154号 |
| 29 | 欲賀南遺跡 | 欲賀町字越細1713-4 | 9/18~9/20 | 70/197 | 個人住宅 | 本調査 | 森山 | 155号 |
| 30 | 欲賀南遺跡 | 欲賀町土地区画整理地内19街区1-5画地 | 12/6~12/8 | 50/76 | 個人住宅 | 本調査 | 伴野 | |
| 31 | 山田町遺跡3次 | 勝部三丁目9-1 | 11/12~11/27 | 80/854 | 生涯学習センター | 本調査 | 森山 | 156号 |
| 32 | 吉身西遺跡 | 守山五丁目字岩賀317-2 他 | 3/10~3/11 | 50/197.19 | 個人住宅 | 本調査 | 畑本 | |

あわただ

【編集後記】 平成19年度も慌しく過ぎてしまいました。今年度の乙貞誌面では、欲賀南遺跡の調査成果が毎回登場してきましたが、その現地調査は昨年11月に終了し、現在は成果を再び紹介するため春季特別展に向けて準備を進めています。皆さん、ぜひご来館ください。また整備前の調査を進めている下之郷遺跡では、遺跡東側の多重環濠の様子が徐々に明らかになってきており、来年度もさらに調査検討が進められます。また、整備工事も平成20年度から着手の予定です。乙貞では、今後も発掘速報やセンターの催し、文化財情報をお伝えしていきます。ご支援をよろしくお願いいたします。(編集者)